



ユニバーサル・ヘルス カバレッジを 達成するための連携

革新的医薬品産業のイノベーションとアクセスを
確かなものとする提携と、それらによる国際保健
の進歩および世界中の人々の生活向上への貢献

目次

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジと持続可能な開発目標



持続可能な開発目標(SDGs)では、世界の喫緊の課題への取り組みに民間セクターが参加し、セクター間で連携をすることが重要である。

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)は、健康に関連したSDGの中心であり、あらゆる年齢層の全ての人々の健康とウェルビーイングを改善するための、そして世界健康安全保障のための基盤である。

民間セクターは、保健製品とサービスの重要な提供者として、UHCの達成と健康安全保障に欠かせない貢献をしている。医療を改善し、保健システムを強化し、効率性を高めることのできる、革新的で新しい製品、技術および洞察力におけるリーダーである。

民間セクターはすでに、世界の何百万人もの人々やコミュニティのために保健製品やサービスを提供している。多くの国は(公的・民間)保健システムが混在している。民間セクターは、国によっては保健サービスの60%以上を提供している。²

プライマリ・ヘルス・ケアを中心とした強力な保健システムを有する国々、特にUHCを達成している国々は、通常の生活に必須のサービスを維持しつつ、集団予防接種キャンペーンを計画したり、COVID-19の患者に対する緊急時の医療サービスを拡大することができた。¹

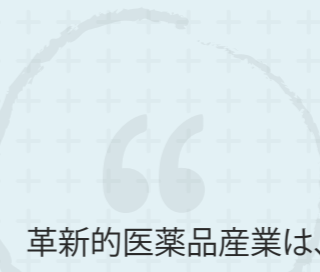
革新的医薬品産業は、イノベーションを推進する上で比類ない役割を果たし、UHCを達成するための世界的な取り組みに向けた解決の一翼を担っている。

次のような形で、政府やその他のステークホルダーによる必要な実現環境を提供する取り組みを支援している。



¹ Lancetに掲載されたUHC2030声明「COVID-19最終レポート」

² ユニバーサル・ヘルス・カバレッジへの民間セクターの貢献「UHC2030民間セクター構成員による声明」



革新的医薬品産業は、持続可能な開発目標(SDGs)に向けた進展を加速させるうえで、民間セクター内で比類ない役割を果たしています。過去、現在、そして将来の医療イノベーションは、アクセスを確保する手段とともに、世界中に健康を改善するための希望と解決策をもたらします。保健、社会、経済、環境の課題に対する革新的な解決策を推進するためには、これまで以上に、協調的、包括的、そしてマルチステークホルダーによる行動が必要です。

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の達成のために、革新的医薬品産業は多くのコラボレーションを支援し、有事に機敏に対応できる強靱な保健システムを形成することで、世界の健康なコミュニティとより強力な経済を構築します。



THOMAS CUENI

Director General, International Federation of Pharmaceutical Manufacturers & Associations (IFPMA)

研究室から患者さんに届けるまで



革新的医薬品産業は、UHCを進めるための多様な技術、専門知識、解決策を結集している。

生命を救う、あるいは生活の質を向上させる医薬品やワクチンを開発するだけでなく、倫理やビジネスインテグリティの基準を順守しながら、革新的な医療の提供と強化のためのパートナーシップを結んでいる。



医薬品やワクチンの発見、開発、提供と、世界中の人々の健康改善。

革新的医薬品産業は、

現在:人々の生活を大きく改善する医薬品やワクチンを届け、医療保健システムや社会への医療的・経済的メリットをもたらす

将来:アンメット・メディカル・ニーズに応える次世代の医薬品やワクチンの研究開発を継続する

我々が残すもの:広く普及した多くの医薬品とワクチンによって、世界の健康に永続的に貢献する。これらは数十年にわたるイノベーションの成果であり、病気の予防と治療の概念を変え、人々がより長く、より健康な生活を送ることを可能にしてきた



医療教育、予防、診断、治療、ケアの一連の流れに対するイノベーションの促進と、保健財政メカニズムを含む革新的な解決策による、質の高い医薬品やワクチンへのアクセスの拡大。



技術とデジタルソリューションに関する専門知識と経験の共有、医療従事者の訓練、人的資源管理、物流とサプライチェーン管理、コミュニティの保健リテラシー向上と啓発。



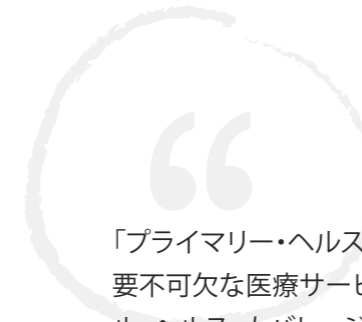
“

「ワクチンへの投資は、単なる健康への投資以上のものです。ワクチンは、健康上の格差を縮小し、家族のケアや保健システムにかかる負担を減らすことができます。しかし、COVID-19の混乱により、2300万人の子どもが小児の予防接種を受けることができず、成人の感染症に対する脆弱性が浮き彫りになりました。国のUHC計画にライフコースの予防接種アプローチを組み込むことは、小児の定期接種率を維持するとともに、人生のあらゆる段階や年齢の人々にワクチンを届け、より多くの人々が生涯を通じてワクチン接種による恩恵を受けられるようにするために極めて重要です。」

MARTHA REBOUR

Executive Director, Shot@Life, United Nations Foundation

SDG3やその他の目標に向けた 行動を加速させるための 革新的医薬品産業の パートナーシップ推進



「プライマリー・ヘルスケアは、妊産婦・新生児・子ども及び若者に必要不可欠な医療サービスを提供するための基本であり、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の基礎となるものです。UHCの達成に向けた進展を加速させるためには、最も脆弱なコミュニティを含む全ての人々に革新的な医療技術とサービスの恩恵をもたらす官民パートナーシップと製薬業界のリーダーシップが不可欠です。」

HELGA FOGSTAD

Executive Director, Partnership for Maternal, Newborn and Child Health (PMNCH)

「非感染性疾患(NCDs)は、世界中の保健システムの限界に挑戦する複雑な課題です。NCDsの進展はUHCの達成に依存しています。意味のある進展の実現は、単体では起こりえません。UHCとNCDへの取り組みは、公共、民間、市民社会のすべての分野にわたって深く連携し、対話を行うことを意味します。」

DR. HAJIME INOUE (井上肇)

世界銀行グループ、保健・栄養・人口プログラムアドバイザー

「すべての国は、国内資源の保健分野への支出を増やし、プライマリー・ヘルスケアへの資金調達メカニズムを再構築する必要があります。そのためには、より有意義なパートナーシップを推進し、地域の医療従事者に権限を与え、革新的なソリューションを医療に活用することが必要です。医療従事者を訓練・維持し、医療アクセスを拡大するための新たな技術と取り組みを発展させ、効率性を高め、UHCの進展を加速するために、私たちは大胆で革新的な協力が必要です。」

DR. GITHINJI GITAHI

Group CEO, Amref Health Africa

多様なパートナー

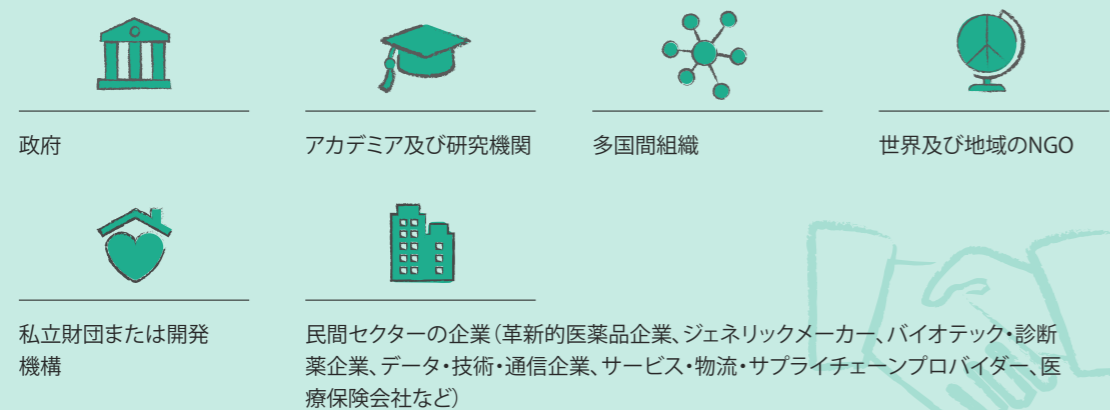
革新的医薬品企業は、それぞれで、あるいは複数で力を合わせ、世界および各地域のステークホルダーと連携し活動している。企業は、保健システムの強化、ケアへのアクセスの改善、公平性を高めるなど、社会全体の課題解決策の開発に向け、政府を支援することに重点を置いている。

これらの取組みが長く続くように、企業は地域のオーナーシップを育み、特定のニーズや既存のシステム基盤に応じたプログラムを企画してきた。

革新的医薬品企業が連携するパートナー



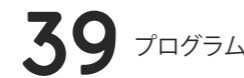
パートナーとなる多様なアクター。



我々が最も連携しているパートナー:



革新的医薬品企業で進行中の企業連携プログラム



39の連携は企業連携プログラムであり、競合企業が共通の世界保健目標に向かって共に前進を進めている。

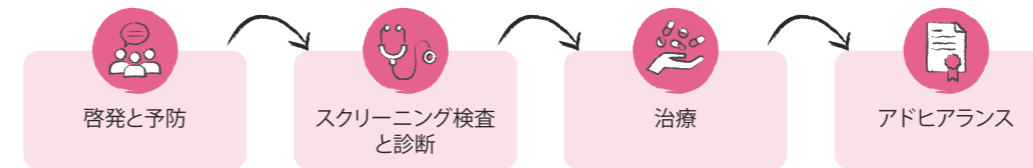
我々は、経験を共有し互いに学び合うことで、個々の努力の総和よりも大きな結果に結びつくと感じている。これらの医薬品企業の共同パートナーシップは、制度的な障壁に対処し、長期的かつ持続可能な解決策の基礎を築くものである。

対象とする疾患と集団

我々は、80を超える疾患にわたり、それぞれのコミュニティにとって影響の大きな健康課題に合わせて連携を行っている。我々は、地域の健康課題とリソースに応じて、様々な集団グループを支援している。



我々の連携は、連続した医療を通じて成果をあげている。:



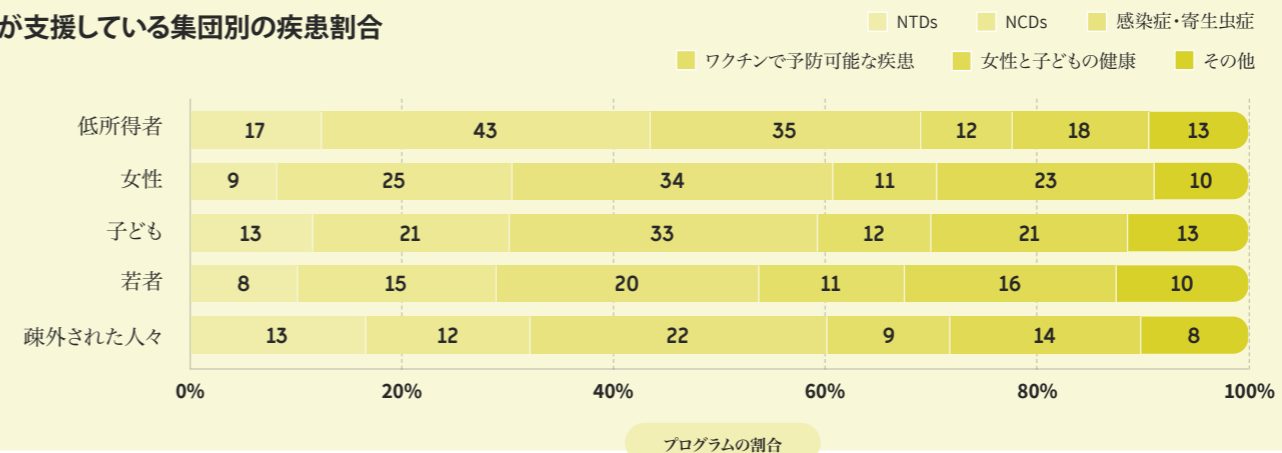
我々の連携は、様々な疾患を対象としている。特に、

- 1 がん 77プログラム
- 2 糖尿病 40プログラム
- 3 結核 31プログラム
- 4 循環器疾患 30プログラム
- 5 HIV/AIDS 27プログラム

我々の連携は、様々な集団を支援している。:

- 1 低所得者 74プログラム
- 2 男性 66プログラム
- 3 女性 63プログラム
- 4 子ども 61プログラム
- 5 若者 40プログラム
- 6 疎外された人々 36プログラム

我々が支援している集団別の疾患割合



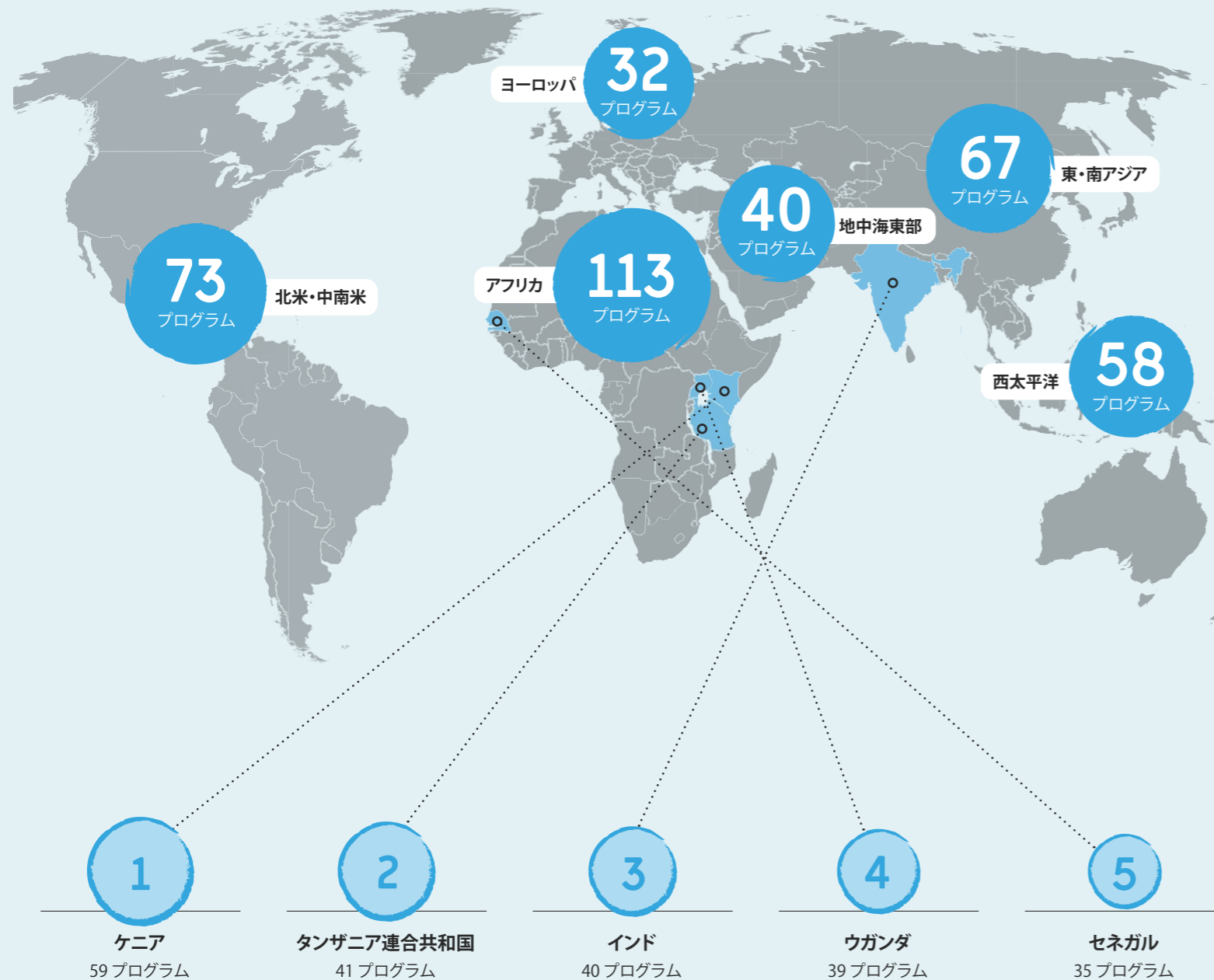
研究開発であれ、規制要件への対応であれ、我々業界はエビデンスに基づくアプローチを強く支持しており、保健パートナーシップへの投資にも同じアプローチを適用するよう努めている。成果を測定することで、何がうまくいっているのか、何がうまくいっていないのか、そして、パートナーとともに、我々の活動をどのように適応させ、スケールアップさせることができるのか示すことができる。

グローバルリーチ



革新的医薬品企業が世界中で取り組んでいるセクター間連携:

250 以上



上位5カ国は…

健康分野にとどまらないSDGsへの貢献

革新的医薬品産業は、人々がより長く、より健康で、より生産的な生活を送ることができるよう、革新的な医薬品とワクチンを発見、開発し、提供する。

イノベーションへの貢献に加えて、全人的なプログラムを開発し、様々な戦略を用いてすべての人の健康増進と目標3【すべての人に健康と福祉を】の達成に向けた進展を支援している。我々は、他の目標と同様に、実施手段及びグローバル・パートナーシップを強化するために、目標17【パートナーシップで目標を達成しよう】を推進している。



目標3及び目標17以外に、以下についても支援している



目標5 ジェンダー平等を実現しよう

25%
のプログラムが目標5を支援



目標9 産業と技術革新の基盤を作ろう

32%
のプログラムが目標9を支援



目標10人や国の不平等をなくそう

30%
のプログラムが目標10を支援

環境関連SDGsへの取り組み

革新的医薬品産業は、清潔な水と衛生に関する目標6、責任ある生産と消費に関する目標12、気候変動対策に関する目標13など、環境関連のSDGsへの取り組みにも力を入れている。

企業は、自社の事業やバリューチェーンでの二酸化炭素排出量の削減、再生可能な電気やエネルギー効率化対策への投資、リサイクルや水使用量の削減、さらには環境に好影響を与えるベスポーク事業などに取り組んでいる。^{3,4}

³ <https://ifpma.org/publications/industry-sustainability-case-studies>

⁴ IFPMA加盟企業は、気候変動の健康上の課題の緩和に取り組んでいますが、Global Health Progress Hub(globalhealthprogress.org)ではまだこれらのSDGsに対する取り組みを追跡していません。

すべてのデータは2023年4月時点のものです。



UHC2030民間セクター構成員の5つのコミットメント⁵









UHC2030は、市民社会、政府、民間セクターを含むセクター横断的なプラットフォームである。UHC2030運動の長期的なパートナーとして、また、UHC2030民間セクター構成員(PSC)のリーダーとして、IFPMAとその加盟企業は、革新的医薬品産業のUHCへの貢献に対するコミットメントを改めて表明する。

革新的医薬品産業は、他のグローバルヘルスステークホルダーとともに、あらゆる年齢層のすべての人々の健康とウェルビーイングを改善し、我々すべてに資する世界健康安全保障を強化するために取り組んでいる。

以下のケーススタディでは、UHC2030のPSCステートメントに沿った、研究開発及び製品開発への革新的アプローチや、革新的な治療法へのアクセス、製品供給、医療提供モデルの事例を紹介する。

マルチステークホルダーの連携による以下の取り組みにより、医療設備の強化が図られた:

-  設備・リソースの提供
-  持続可能で負担可能なアプローチと、価格設定戦略による医薬品へのアクセスの向上
-  海外からの直接投資と、国内の保健資源を増やすための混合型資金調達メカニズムを通じた持続可能な資金調達の推進
-  規制及びサプライチェーン体制の強化
-  医療従事者のための質の高い研修・教育支援
-  病気に対する意識向上を目的とした地域社会エンゲージメント

5つの約束:

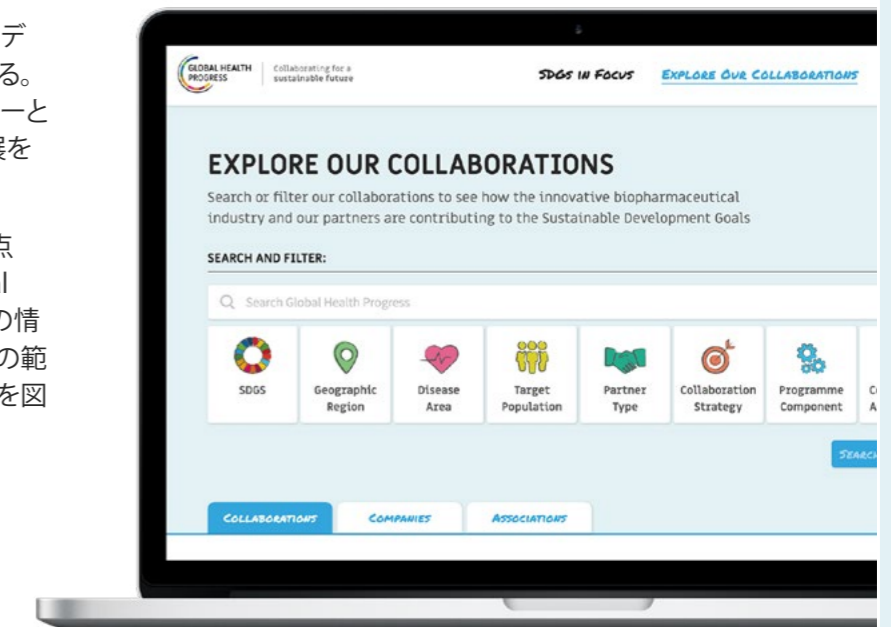
- 1 誰一人取り残すことなくUHCの原則をビジネスに取り入れる
- 2 十分なサービスを受けていない人々を含むすべての人々のニーズに応え、負担可能で、アクセスしやすく、持続可能なイノベーションを提供する
- 3 地域の状況、優先順位、ニーズに対応し、医療人材の強化を支援する
- 4 UHCのための資金調達に向けた取り組みに貢献する
- 5 UHCを推進するマルチステークホルダーによる政策的対話を支持しこれに参加する

このレポートで紹介する14のプログラムケーススタディは、IFPMA加盟企業が行っている活動の一部である。革新的医薬品企業は現在、約700の多様なパートナーと250以上の連携を実施し、UHCとSDGsに向けた進展を支援している。

Global Health Progressは、これらの連携事例に焦点を当てた双方向のナレッジハブである。また、Global Health Progressは、継続的な学習を支援するための情報とベストプラクティスを共有し、パートナーシップの範囲と影響力を拡大するため相互の専門知識の活用を図っている。

詳しくは以下をご覧ください

globalhealthprogress.org と ifpma.org



* データは、2023年3月10日現在のGlobal Health Progressの内容を反映しています。

⁵ UHC2030民間セクターエンゲージメント <https://www.uhc2030.org/what-we-do/knowledge-and-networks/private-sector-engagement/>

1 誰一人取り残すことなく、UHCの原則をビジネスに取り入れる

AN ACCORD FOR A HEALTHIER WORLD (より健康な世界のための協定)

活動開始年: 2022年

本協定は、世界的に権利を有するファイザーの全ポートフォリオを非営利ベースで、世界の低所得国45カ国に住む12億人に対してアクセスできるようにすることを目的としている。

加盟企業:



戦略:

保健システム強化・サプライチェーン・資金調達・法規制・価格設定・医療サービスの提供・スクリーニング・医療サービスの提供・診断・医療サービスの提供・治療

対象国/エリア:

アフリカ(30カ国)・北米・中南米(ハイチ)・地中海東部(アフガニスタン、ソマリア、スーダン、シリア、イエメン)・ヨーロッパ(キルギスタン、タジキスタン)・東・南アジア(バングラデシュ、ミャンマー、ネパール、北朝鮮)・西太平洋(カンボジア、ラオス、ソロモン諸島)

プログラムの概要

「より健康な世界のための協定」は、低所得国45カ国に住む12億人の人々の健康を改善する可能性のある、質の高い、安全で効果的な医薬品とワクチンへの持続的で公平なアクセスを可能にするための、最初のイニシアチブである。ファイザーはこの協定のもと、世界的に権利を保有するすべてポートフォリオを、これらの国々に非営利ベースで提供することを約束した。心臓病、がん、希少疾病、炎症性疾患、さらには致死的な感染症によって影響を受ける人々に対して、予防と治療の選択肢を提供することを目指している。

各国政府やマルチセクターのリーダーとともに、医薬品やワクチンのより迅速で効率的なサプライチェーンを確立するための解決策を協同で創造するとともに、専門技術、トレーニング、診断能力、革新的な資金調達などの、迅速かつ持続的なアクセスを可能にする資源、能力、プラットフォームを強化する。

結果とマイルストーン

- 2022年、ルワンダはこの協定を通じ、ファイザーの特許期間中の医薬品とワクチンを受領した最初の国となった。受領した製品の中には、生命を脅かす感染症や炎症性疾患、がんの治療または予防に使用される9つ製品が含まれる。ルワンダの保健省とファイザーは共同で、ルワンダの専門医を支援する専門的な医学教育と研修の提供を推進している。
- ファイザーは2022年11月に長期的なサプライチェーンの最適化の機会を特定するため、最初のグローバルヘルsteamをルワンダに派遣した。

このプログラムの詳細は、[Global Health Progress](#) を参照してください

ギリアド 技術移転/ライセンス契約

活動開始年: 2006年

ギリアドの技術移転は、ギリアド医薬品のジェネリック(自発的ライセンスによる)が、必要な患者さんに届くようにすることを目的としている。

加盟企業:



戦略:

医薬品の研究開発・サプライチェーン・医療サービスの提供・治療・ライセンス契約・製造

対象国/エリア:

アフリカ(46カ国)・北米・中南米(22カ国)・地中海東部(7カ国)・ヨーロッパ(10カ国)・東・南アジア(10カ国)・西太平洋(15カ国)

対象集団:

低所得者

サポートパートナー:

→ 低所得国の25以上のジェネリックメーカー

プログラムの概要

ギリアドは、2006年にHIVの特許の最初のライセンスを取得して以降、ジェネリックメーカーへライセンスを供与している。C型肝炎については2014年、COVID-19については2020年にライセンス契約を追加締結した。これらの契約は、低・低中所得国(LLMIC)における高品質で低コストの医薬品の開発及び商業化を支援するものである。ギリアドは、ギリアドの医薬品のジェネリックを必要とする患者さんに届けるための技術移転を行っている。

ギリアドは、現地の生産者と協力し大規模な製造を行えるようにし、製品の安全性と安定性の確保するための支援を行い、生産拡大に向けたサポートを行う。これらの特許権者は、最終製品の製造工程や有効成分の製造に関する技術移転を受けることが可能となる。その後、特許権者は他の特許権者に原薬を販売し、最終製品について独自の価格設定を行うことができる。ジェネリックメーカーからギリアドに支払われるロイヤリティは、同社の自発的ライセンスプログラムを維持するための支援活動に再投資されている。

結果とマイルストーン


- ギリアドのイノベーションとアクセスプログラムにより、低・低中所得国の患者さんのための数百万のHIV及びウイルス性肝炎治療薬が利用できるようになった。
- ギリアドのレムデシビルの自発的ライセンスプログラムにより、低・低中所得国の800万人以上がCOVID-19抗ウイルス薬にアクセスできるようになった。
- ギリアドは、特許のライセンス供与を通じて高品質で低コストの治療への世界的なアクセス拡大に取り組むユニットエイド(Unitaid)の支援組織である医薬品特許プール(Medicines Patent Pool)に初めて参加した先発品企業である。

このプログラムの詳細は、[Global Health Progress](#) を参照してください

ノバルティス ヘルシーファミリープログラム

活動開始年: 2007年

ノバルティス ヘルシーファミリープログラムは、発展途上国における医療と医薬品へのアクセスを向上させるために、地域で持続可能なプログラムを構築する包括的な地域保健モデルを提供している。

加盟企業:	
戦略:	ケアに対する地域意識とのつながり・保健システム強化・医療サービスの提供
対象国/エリア:	アフリカ(ケニア)・東・南アジア(インド)・西太平洋(ベトナム)
対象集団:	子ども・女性・低所得者・疎外された人々/先住民・農民
サポートパートナー:	<ul style="list-style-type: none"> → 現地のNGO → 世界のNGO → 各国政府の保健省

プログラムの概要

ノバルティス ヘルシーファミリーモデルは、6つの“A”に基づいている: Awareness (認知)、Affordability (負担可能性)、Adherence (アドヒアランス)、Adaptability (適応性)、Availability (入手可能性)、Alliances (アライアンス)。ノバルティスは、遠隔地の村に住む人々を「健康教育担当者」として採用・トレーニングを行い、健康、疾病予防、タイムリーな治療を受けることのメリットについて地域社会に情報提供することを支援している。また、現地の医師と協力して遠隔地の村々で保健キャンプを組織し、スクリーニング、診断、治療へのアクセスを提供する移動診療所を運営している。「ヘルス・スーパーバイザー」は、このイニシアチブの現地の営業部隊として、現地の薬局や医師と交流している。

このイニシアチブでは、感染性疾患及び非感染性疾患に対する負担可能な医薬品を提供している。これらは、現地の市場の状況や、各国の農村地域で最も蔓延している疾患に適応している。製品は、使用するのが簡単であり、現地の患者さんに適している必要がある。現在の製品群には、抗生物質、非ステロイド性抗炎症薬、糖尿病、高血圧症、脂質異常症治療薬のほか、婦人科治療に使用できる感染症治療薬が含まれる。

結果とマイルストーン

- 最初のプログラム(アローギヤ・パリヴァール)は、インドで2007年に開始され、3年未満で自立したものとなっている。現在、専門疾患の診療の分散化に伴い、治療領域を絞り込みプログラムの刷新を進めている。
- インドでのアローギヤ・パリヴァールの成功を受けて、ノバルティスはベトナムとケニアで同様のプログラムを展開している。ノバルティスは、より革新的な医薬品を含むよう製品群を進化させる予定である。

このプログラムの詳細は、[Global Health Progress](#) を参照してください

グローバルヘルス技術振興 (GHIT) 基金

活動開始年: 2013年

日本が主導するイニシアチブで、医薬品、ワクチン、診断薬などの新しい医療技術の発見と開発を低中所得国のために推進している。

加盟企業:	    
戦略:	医薬品の研究開発・医療サービスの提供
対象国/エリア:	グローバルコミットメント
対象集団:	子どもと若者・男性・女性・低所得者
サポートパートナー:	<ul style="list-style-type: none"> → 結核治療薬開発のためのグローバルアライアンス (TBアライアンス) → 顧みられない病気のための新薬開発イニシアティブ (DNDi) → ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団 → 国連開発計画 (UNDP)

プログラムの概要

日本政府と世界第3位の医薬品市場である日本の医薬品企業は、日本の技術、イノベーション、知見を活用して発展途上国における医薬品、ワクチン、診断薬の開発を推進している。GHIT Fundは、世界初の官民パートナーシップとして、日本政府、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団、日本の大手製薬企業5社により設立された。2018年までに、このパートナーシップは11のパートナーにメンバーを拡大している。

GHIT Fundは、日本国民の健康を脅かす世界共通の脅威に対抗するための研究開発プロジェクトに対して助成金を提供している。GHIT Fundは創設以来、顧みられない熱帯病 (NTDs)、マラリア、結核 (TB) に対する研究開発を促進してきた。

結果とマイルストーン

- GHIT Fundは、マラリア、結核、リーシュマニア症やシャーガス病を含むNTDsに対する革新的な医薬品やワクチンを開発するグローバル・パートナーシップに対して、1,770万米ドルを超える助成金を提供してきた。
- GHIT Fundの投資先として、2種類のマラリアの伝播を阻止できるワクチン、数分でマラリア感染を明らかにできる迅速診断テスト、HIV陽性患者に対する新しい結核診断検査の開発がある。

このプログラムの詳細は、[Global Health Progress](#) を参照してください

2 十分なサービスを受けていない人々を含むすべての人々のニーズに応え、負担可能で、アクセスしやすく、持続可能なイノベーションを提供する

CHANGING DIABETES® IN CHILDREN (糖尿病の子供たちの未来を変える)

活動開始年: 2009年

The Changing Diabetes® in Children (CDiC) プログラムは、低中所得国の1型糖尿病(T1D)患児のケアと救命医薬品を確保している。また、25歳までの救命医薬品と備品の無償提供も行っている。

加盟企業:



- 戦略:** ケアに対する地域意識とのつながり・保健システム強化・医療サービスの提供 - 治療・医薬品の寄付
- 対象国/エリア:** アフリカ(14カ国)・地中海東部(スーダン、ヨルダン、レバノン、パキスタン、チュニジア)・東・南アジア(バングラデシュ、インド、インドネシア、ミャンマー)・西太平洋(カンボジア、ベトナム)・北米・中南米(ペルー)
- 対象集団:** 子どもと若者

- サポートパートナー:**
- 世界糖尿病基金(WDF)
 - 国際小児思春期糖尿病学会(ISPAD)
 - プログラム実施国の保健省、地域病院、患者団体、糖尿病協会

プログラムの概要

CDiCは、ノボノルディスクが2009年に開始した官民パートナーシップである。このプログラムは、各国の保健システムと緊密に協力しながら、現地のパートナーグループによって実施されている。必要な糖尿病ケアのあらゆる要素をそれを必要とする子どもたちにとってより身近なものとなるよう、コミュニティと国の両方のレベルで、T1Dの子どもたちの診断と治療の体制を構築することを目指す。4つの主要な構成要素は:

- 機器・資材を用いた患者教育の徹底
- T1D診断・治療に関する研修を通じた医療従事者の能力強化
- アクセスしやすい医療施設を増やし、医療を必要とする人々にとって身近なものとする
- 寄付とサプライチェーン強化によるインスリンや備品へのアクセス確保

結果とマイルストーン

- 2009年のプログラム開始以来、CDiCは2万4000人以上の医療従事者をトレーニングし、360施設以上の1型糖尿病クリニックを設立、380万本以上のインスリンバイアル、ペン、及びカートリッジを届け、26の低中所得国で4万1000人以上の子どもたちにプログラムを提供した。
- ノボノルディスクは、2019年にCSR戦略であるDefeat Diabetesを開始するにあたり、2030年までにT1Dと共に生きる10万人の脆弱な子どもや若者にプログラムを届けるという野心的な目標を新たに設定した。

このプログラムの詳細は、[Global Health Progress](#) を参照してください

サノフィ グローバルヘルスユニット

活動開始年: 2021年

サノフィ グローバルヘルスは、サノフィ内に新たに設立された非営利組織である。持続可能な影響をもたらす革新的で包括的な医療モデルとパートナーシップを通じて、十分な医療サービスを受けられていない人々の生活を改善することを目指している。

加盟企業:



- 戦略:** 医療サービスの提供 - 治療・保健システム強化・価格設定
- 対象国/エリア:** アフリカ(40カ国)・地中海東部・東・南アジア・西太平洋

- サポートパートナー:**
- 現地及び地域の医療技術スタートアップ
 - 国際流通業者

プログラムの概要

サノフィは、2021年にサノフィ・グローバルヘルスユニット(GHU)を設立した。NCDs(非感染性疾患)のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)への移行過程において、各国の保健省やNGOと緊密に連携しながら、現地の保健システムの強化や患者さんの支援を行うとともに、高品質な医薬品を入手可能な価格で提供することを目的としている。

サノフィGHUは2022年にImpact®ブランドを立ち上げ、低所得国40カ国の患者さんに30種類の自社医薬品へのアクセスを約束した。Impact®ブランドは、糖尿病、心血管疾患、がんなど、幅広い治療領域をカバーしている。「インパクトグラルギンU100」は、WHOの事前承認を申請する最初のインスリンアナログ製剤となり、対象国におけるインスリンアナログ製剤のアクセスを改善するというサノフィGHUのコミットメントにおける重要なマイルストーンである。

サノフィGHUは、必須医薬品へのアクセスを改善するだけでなく、がん医療体制の構築を含む保健システム強化の取り組みを支援するとともに、財政的に実現可能なケア・ソリューションの規模を拡大できるよう、現地起業家の包括的事業に投資を進めている方針である。

結果とマイルストーン

- 2022年には少なくとも27の十分な医療サービスを受けられていない国々で、18万4千人のNCD患者さんにサノフィの製品を提供した。
- ジブチ(Caisse National de Sécurité Social)、タンザニア、シエラレオネ、カンボジアにおける、医療へのアクセスが限られている患者さんのための、NCDの疾患啓発、診断、管理、高品質の医薬品の入手・購入のしやすさを改善する複数のパートナーシップを構築する。
- スタートアップ起業家が持続可能なヘルスケアモデルの提供と規模拡大を加速させること、また東・南アジアでの最初の投資を確定することを可能にする基金「Impact Fund」(最大2500万ユーロのコミットメント)を立ち上げる。

このプログラムの詳細は、[Global Health Progress](#) を参照してください

⁶ <https://www.novonordisk.com/sustainable-business/access-and-affordability/changing-diabetes-in-children.html>

MSD FOR MOTHERS

活動開始年: 2011年

6億5千万米ドルのグローバルイニシアチブは、防ぐことのできる妊産婦死亡をなくすための最も強力な2つの手段、すなわち質の高い妊産婦ケアと近代的避妊法への確実なアクセスを支援している。

加盟企業:



- 戦略:** ケアに対する地域意識とのつながり・保健システム強化・資金調達・医薬品の寄付・医療サービスの提供 - 予防・医療サービスの提供-治療
- 対象国/エリア:** グローバルコミットメント
- 対象集団:** 女性・疎外された人々／先住民

サポートパートナー: → 世界中の165の助成と提携先

プログラムの概要

MSD for Mothersは、避妊薬と健康的な妊娠と安全な出産に必要な質の高いケアについて、女性が十分な情報を得た上で選択できることを目指している。また、医療従事者が質の高いサービスを提供するために必要なスキル、ツール、技術を身につけることも支援する。

MSDは、政府、NGO、患者団体、医師・看護師・助産師団体、起業家、国連機関、研究機関、その他の機関と協力して質の高い妊産婦ケアへのアクセスを向上し、UHCの達成及び保健システムを持続的に強化するために、次のような包括的かつ協力的なアプローチをとっている。

- 地域の医療従事者の品質認定をサポート
- 民間セクターのイノベーションの開発と展開
- 現地・地域主導型ソリューションの組み込み

このイニシアチブの下、MSDはマルチセクターの協力を通じて地域の保健システムを強化し、より多くの人々が利用できる医療サービスの拡大、患者さんを巨額の医療費負担から守り、妊産婦ケアの質と持続可能性を確保することを目的とする複数のプロジェクトに取り組んでいる。

結果とマイルストーン

- MSD for Mothersは設立以来、安全で質の高い丁寧なケアを推進するプログラムを通じて、2千万人以上の女性を支援し、世界中の165以上の助成と連携による200以上の戦略的投資を支援してきた。
- 2021年、MSD for Mothersは、地域主導型ソリューションにより女性の命を救うための新たなグローバルイニシアチブ-Strengthening Systems for Safer Childbirth⁷-を開始した。

このプログラムの詳細は、[Global Health Progress](#) を参照してください

1日1回投与可能な分散型小児用HIV治療薬の開発及びアクセスの加速化

活動開始年: 2017年

資源が限られた状況でHIVと共に生きる子どもたちのための、ドルテグラビル(DTG)の最適化された小児用ジェネリック製剤の研究、開発、導入を迅速化するものである。

加盟企業:



- 戦略:** 製造・医薬品の研究開発・医療サービスの提供-治療
- 対象国/エリア:** アフリカ(47 国)・北米・中南米(ボリビア、エルサルバドル、ハイチ、ホンジュラス、ニカラグア)・地中海東部(13 国)・ヨーロッパ(キルギスタン、タジキスタン、ウクライナ、ウズベキスタン)・東・南アジア(9 国)・西太平洋(12カ国)
- 対象集団:** 子どもと若者

サポートパートナー: → クリントン・ヘルス・アクセス・イニシアティブ (CHAI)
 → ユニットエイド (Unitaid)
 → マイラン・ラボラトリーズ社(ヴィアトリスグループの一部)
 → マクレオッド・ファーマシューティカルズ

プログラムの概要

小児HIV市場は細分化されており、新しい製剤の導入と普及が妨げられている。HIVに感染している子どもたちのための医薬品の研究開発は、成人向け治療の進歩に比べ大きく遅れを取っているのが現状である。市場インセンティブが不十分であることや、製造工程における技術的な複雑さも、本来価値があるはずの小児用医薬品の開発が優先されない要因となっている。

ヴィーヴヘルスケア、CHAI、ユニットエイドのこの連携では、分散型錠剤技術の移転を通じて、抗レトロウイルス薬であるDTGの小児用製剤のジェネリック開発、登録、流通を加速する。これはヴィーヴヘルスケアの研究に基づいており、直接あるいはMedicines Patent Pool(医薬品特許プール)を介して付与された既存のロイヤルティフリーの自発的ライセンス契約を通じて、ジェネリック医薬品企業が、資源が限られた状況でこの医薬品のジェネリックを製造・販売することを可能にするものである。こうした契約により、ジェネリック医薬品メーカーによる121カ国での小児用製剤の開発が可能となり、低所得国でHIVに感染している子どもたちの99%をカバーしている。

結果とマイルストーン

- 2022年12月現在、73カ国で小児用DTG分散錠のジェネリックが供給されている。最初のジェネリック製剤が米国FDAの仮承認を受けてからわずか2年後のことである。この73カ国には、小児HIVの発症率が最も高い10カ国すべてが含まれる。
- この官民パートナーシップの成功を受け、ヴィーヴ、CHAI、ユニットエイドの間で、2022年に米国FDAの承認と欧州医薬品委員会(CHMP)のポジティブオピニオンを受けたDTGを用いた小児用ジェネリック医薬品の開発、登録、供給をさらに加速させる活動が進行中である。これはアバカビルとラミブジン(ALD)を配合したDTGのWHO推奨固定用量配合分散錠である。

このプログラムの詳細は、[Global Health Progress](#) を参照してください

⁷ <https://www.saferchildbirthsystems.com>

3 地域の状況、優先順位、ニーズに対応し、医療人材の強化を支援する

ジョンソン・エンド・ジョンソン CENTER FOR HEALTH WORKER INNOVATION

活動開始年: 2019年

当センターは、ジョンソン・エンド・ジョンソン財団とジョンソン・エンド・ジョンソン グループカンパニーからの10年間にわたる2億5千万米ドルのコミットメントに基づき、2030年までに100万人の医療従事者が1億人の人々を支えることを支援している。

加盟企業:



戦略: ケアに対する地域意識とのつながり、保健システム強化

対象国/エリア: グローバルコミットメント

対象集団: 子ども・女性・低所得者・疎外された人々/先住民・農民

- サポートパートナー:**
- グローバルファンド(Global Fund)
 - ユニセフ (UNICEF)
 - 国際看護師協会 (International Council of Nurses)

プログラムの概要

当センターは、UHCとSDGs⁸の達成に向け最も困難な2つの障壁、すなわち、1000万人の医療従事者不足⁹の解消と、医療従事者が活躍できる環境の整備を目的として設立された。当センターは、people-first model(人々を最優先とするモデル)を活用し、医療の質の向上と地域に根ざした保健システムの強化に必要なスキル、資源、支援を世界中の医療従事者に提供することに重点を置いている。

グローバルヘルスの公平性への挑戦は、当センターの使命であり、ジョンソン・エンド・ジョンソンのESG戦略¹⁰の中核となる優先事項である。最前線で働く医療従事者は、多くの場合、地域社会と保健システムの間で最初かつ唯一の存在である。世界の半数の人々¹¹が、基本的で必要不可欠な医療サービスを利用できない状況の中で、医療従事者を支援し、数十年にわたって資金不足に陥っているプライマリー・ヘルスケアを再構築を進めることは、グローバルヘルスの優先課題達成のために極めて重要である。

結果とマイルストーン

2022年10月時点で、当センターのプログラムは、2021年だけで75万5千人を超える最前線で働く医療従事者(主に看護師) → と地域医療従事者に届けられ、すでに2030年までの10年間の目標の74%に達している。これは主に、ジョンソン・エンド・ジョンソンのデジタル・ヘルス・プログラミングによるものである。

ジョンソン・エンド・ジョンソンは、あらゆる地域、あらゆる人々を対象に、健康の公平性とアクセスを達成するという使命に沿って、この先の数年間の目標の再確認と再調整に取り組んでいる。

このプログラムの詳細は[Global Health Progress](#)を参照してください

⁸ <https://sdgs.un.org/goals/goal3>

⁹ https://www.who.int/health-topics/health-workforce#tab=tab_1

¹⁰ <https://www.jnj.com/about-jnj/policies-and-positions/esg-strategy>

¹¹ <https://news.un.org/en/story/2017/12/639272-half-world-lacks-access-essential-health-services-un-backed-report>

HEALTHY HEART AFRICA (HHA) プログラム

活動開始年: 2014年

当プログラムは、高血圧や心血管疾患の増大する負担へ取り組むことをコミットしている。2025年までにアフリカ全域で1000万人の高血圧患者さんに届くことを目標に掲げている。

加盟企業:



戦略: ケアに対する地域意識とのつながり・保健システム強化・医療サービス提供 - 治療・医療サービス提供・スクリーニング

対象国/エリア: アフリカ(9カ国, 2024年末までに19カ国に拡大)

- サポートパートナー:**
- 米国大統領エイズ救済緊急計画(US President's Emergency Plan for AIDS Relief/PEPFAR)
 - エチオピアとナイジェリアのPSI(Population Services International)
 - ガーナ、セネガル、タンザニア、ルワンダのPATH(Program for Appropriate Technology in Health)
 - 実施国における信仰に基づく組織(Faith-based organizations)

プログラムの概要

HHAは、公的、私的、信仰に基づく施設を含む地域のステークホルダーと協力し、血圧検診と高血圧治療を日常診療に組み込み、最終的には地域の課題に持続的に取り組むための最適化された介入策を開発している。HHAは、高血圧の症状やリスクに対する認識を高め、医療従事者を訓練し、医療施設を活性化することにより、地域の保健システムを支援している。また、必要に応じて、健康教育、検診及び低コストの治療と管理も実施している。

2016年から2021年にかけて、アストラゼネカはPEPFARと協力し、HHAの高血圧治療サービスを既存のHIVプラットフォームに組み込んだ。高血圧治療は、HIV治療サービスを必要とする人々を見つけだし、サービスを届けるための偏見のない入口として用いられた。2023年には、HHAの官民パートナーシップモデルは、2年間でさらに10のアフリカ諸国で既存の保健プラットフォームに組み込まれると見込まれている。

結果とマイルストーン

- 2015年のスクリーニングを開始以来、3200万件以上の血圧検診を実施し、アフリカの1200以上の医療施設を稼働させ高血圧治療サービスを提供するなど、9カ国でエンドツーエンドの疾病管理を促進した(2022年12月データ)。
- 同期間に高血圧の教育と啓発、検診、治療サービスを提供するために1万600人以上の医療従事者を訓練した。

このプログラムの詳細は、[Global Health Progress](#)を参照してください

4 UHCのための資金調達に向けた取り組みに貢献する

ACCESS ACCELERATED INITIATIVE

活動開始年: 2017年

Access Accelerated には、ライフサイエンス企業が参加し、低中所得国(LMICs)で増大する非感染性疾患(non-communicable diseases/NCDs)の負担に共に取り組み、SDGsへの進展を支援している。

加盟企業:



戦略: 医療サービスの提供・ケアに対する地域意識とのつながり・保健システム強化・サプライチェーン・資金調達・法規制

対象国/エリア: グローバルコミットメント

- サポートパートナー:**
- 世界銀行 (World Bank)
 - RTIインターナショナル (RTI International)
 - ボストン大学 (Boston University)

プログラムの概要

Access Acceleratedは、低中所得国におけるNCDの予防、治療、ケアに対する持続可能で汎用可能な解決策を推進する、独自の業界横断的なコラボレーションである。国、市民社会、多国間組織、NGOとのパートナーシップの下、グローバルな対応能力と現地の専門知識を用いて、セクター横断的な対話を支援し、UHCの目的と優先課題に沿った保健システムの強化を推進している。

世界銀行グループとAccess Acceleratedは、3つの分野にわたって各国内での共同行動を推進してきた。

- 各国のUHCアジェンダへの組み込みが可能な保健行政政策の事例とするために、NCDの経済影響に関するハイレベルなエビデンスを創出する。
- 国レベルでの規模拡大を促し、NCDに対する革新的な資金調達を支援するプロジェクトのポートフォリオを通じて、NCDの予防、治療、ケアへの官民の投資を加速させる。
- 官民パートナーシップのエンゲージメントを最適化し、成果に基づいたモニタリングや評価システムによる進捗状況を追跡することで、将来のNCDプログラミングの指針となるように、エビデンスに基づく意思決定を促進する。

結果とマイルストーン

- このパートナーシップは、NCDへの新たな公的投資を促し、保健システムへの21億米ドルの投資を誘引することにより、世界銀行による36ヵ国の低中所得国を対象とした40以上のプロジェクトを支援してきた。
- 2017年から2022年にかけて、Access AcceleratedはNGO、City Cancer Challenge、NCD Alliance、PATH、World Heart Federationとも提携し、各国のNCDケアへのアクセス改善を支援してきた。

このプログラムの詳細は、[Global Health Progress](#) を参照してください

NIGERIAN CANCER HEALTH FUND (ナイジェリアがん医療基金)

活動開始年: 2020年

ナイジェリアがん医療基金は、治療センターで患者さんががん治療の費用を支払えることを確保するための革新的な方法であり、UHCを達成するための国の取り組みの重要な部分である。

加盟企業:



戦略: 資金調達・医療サービスの提供-治療

対象国/エリア: アフリカ (ナイジェリア)

TARGET POPULATION: 低所得者

- サポートパートナー:**
- 国際金融公社(International Finance Corporation/IFC)
 - ナイジェリアヘルスケア連合 (Healthcare Federation of Nigeria)
 - ナイジェリア国民健康保険制度 (Nigeria National Health Insurance Scheme)

プログラムの概要

ナイジェリアでは医療保険が普及しておらず、包括的ながん治療ケアが提供されていない。多くのがん患者さんは、必要な治療を受けられないままにいたり、治療を始めても、がんケアに伴う自己負担が大きすぎるため、治療を中止せざるを得ない。

2020年、ロシュが主導した民間部門の連合は、国際金融公社(IFC)及びナイジェリアの公的機関の支援を受けて、ナイジェリアがん医療基金(CHF)の創設を導いた。CHFの目標は、支払い能力の有無にかかわらず、恵まれない人々が標準的ながん治療を受けられ、サービスの質を向上することにより、国のがん治療エコシステムを強化することである。CHFは、乳がん、子宮頸がん、前立腺がんの患者さんの治療、化学療法、放射線治療サービスに対して、4865米ドルの資金を提供している。これは、全国の指定センターで試験的に実施されている。

結果とマイルストーン

- 2020年以降、乳がん、前立腺がん、子宮頸がんの患者さんに対して包括的なケアの提供が可能となるように約400万米ドルが割り当てられた。
- 試験的段階では国の各地行政区毎に6つの公衆衛生機関が参加している。

このプログラムの詳細は[Global Health Progress](#)を参照してください

5

UHCを推進するマルチステークホルダーによる政策的対話を支持しこれに参加する

CITY CANCER CHALLENGE (C/CAN)

活動開始年: 2017年

C/Canは、地域主導の解決策の構築、保健システムの強化を支援し、地域のオーナーシップの確保により、良質で公平ながん治療へのアクセスを改善するために世界中の都市を支援している。

加盟企業:



戦略:

ケアに対する地域意識とつながり・保健システム強化・医療サービスの提供 - 治療・医療サービスの提供 - 予防・医療サービスの提供 - スクリーニング・医療サービスの提供 - 診断

対象国/エリア:

グローバルコミットメント

サポートパートナー:

- 国際金融公社(IFC) -世界銀行(World Bank)
- クリントン・ヘルスアクセス・イニシアティブ(CHAI)
- 国連訓練調査研究所(UNITAR)
- 世界保健機関(WHO)

プログラムの概要

C/Canは、医療サービス全体に規模を拡大し再現できる変革を実施することで、都市がより良いがん医療を実現することを支援している。この取り組みは、都市ががん医療の革新を検証し、推進する独自のエコシステムを提供するという前提に基づいており、人々のニーズに一から応えるものである。

C/Canモデルは、能力と強靭性を構築するために、人々、政策、プロセス間の連携を強化することに投資する。政策立案者、医療従事者、患者グループ、パートナーを招集し、自立への道を支援する地域づくりを行う。都市は、C/Canへの加盟を申請し、他の基準と並んで、がんと闘うことへのコミットメントに基づいて検討される。都市が承認されると、都市はC/Canと協力して、ステークホルダーの特定と関与、ニーズの評価、解決策の開発、がん医療を改善するためのプロジェクトの実行、持続に取り組む。

結果とマイルストーン

- 13の都市がC/Canと次の5つの行動活動分野で連携している。保健情報システムの改善、保健人材の能力開発、保健財政の促進、リーダーシップとガバナンスの強化、保健サービス提供の強化。
- 2023年には、都市への新規申請が開始される予定である。

このプログラムの詳細は、[Global Health Progress](#) を参照してください

ACCESS TO ONCOLOGY MEDICINES (ATOM) COALITION

活動開始年: 2022年

ATOM Coalitionは、低・低中所得国(LLMIC)において、命を救うがんの診断、医薬品、サービスへのアクセスを拡大するためのグローバルな共同行動をリードする革新的なパートナーシップである。

加盟企業:



戦略:

ケアに対する地域意識とつながり・保健システムの強化・サプライチェーン・資金調達・法規制・医薬品の研究開発・ライセンス契約・医療サービスの提供 - 治療・医療サービスの提供 - 診断

対象国/エリア:

グローバルコミットメント

サポートパートナー:

- 国際対がん連合(UICC)
- 医薬品特許プール Medicines Patent Pool (MPP)
- 医薬品アクセス財団
- PATH(Program for Appropriate Technology in Health)
- Project Echo
- 米国臨床腫瘍学会 (ASCO)

プログラムの概要

ATOM Coalitionは、第75回世界保健総会(WHA75)の際にUICCとそのパートナーによって発足した。この連合は、低・低中所得国におけるがんによる苦痛や死亡を減らすという共通の志の元、市民社会、公的セクター、民間セクターから30以上の専門家組織が集結している。これは、品質が保証された必須がん治療薬へのアクセスと、これらの医薬品を適切に使用する能力を高めることによって行われている。

ATOM Coalitionは、第1段階(4~5年)において、5~10カ国での集中的な調整された能力開発活動の実施を支援し、時間の経過とともに他の低・低中所得国にも拡大していく。また、低・低中所得国に分類される46カ国における医薬品アクセスの拡大にも注力する。WHO 必須医薬品リスト (EML)に掲載されている医薬品、あるいはLLMICsで最も罹患患者数に対する死亡率比率の高いとされるがんを治療する医薬品で今後必須医薬品リストに掲載されるであろう医薬品が優先される。

結果とマイルストーン

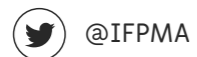
- ATOM Coalition医薬品専門諮問グループは、がんに対する17種類のジェネリック薬及びバイオ後続薬の優先リストを提示している。
- ノバルティスは、ATOM Coalition のもと、WHO 必須医薬品リスト(EML)に掲載されている慢性骨髄性白血病治療薬「ニロチニブ」の非独占的ライセンスをMPP に供与し、がん治療薬の非独占的自主ライセンスに署名した初めての企業である。

このプログラムの詳細は、[Global Health Progress](#) を参照してください

IFPMA

国際製薬団体連合会(IFPMA)は、世界中の90を超える研究開発志向型の製薬企業や業界団体を代表している。当業界では約300万人の従業員が働いており、医薬品やワクチンの発見、開発、提供を行い、グローバルヘルスの推進に貢献している。ジュネーブに拠点を置くIFPMAは国際連合との公式な関係を有し、産業界の専門知識を提供することで、グローバルヘルスコミュニティが世界中の人々の生活を向上させるのを支援している。

[ifpma.org](https://www.ifpma.org)



GLOBAL HEALTH PROGRESS

Global Health Progressは、革新的医薬品産業界と約700の多様なパートナーとの間の250以上の連携事例を紹介する双方向型のナレッジハブである。これらの連携は、低・中所得国におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジと持続可能な開発目標の実現を推進している。

[globalhealthprogress.org](https://www.globalhealthprogress.org)

